

社協だより

高齢者相互支援推進研修会	1
第50回田子町社会福祉大会	2
社協の歩み	3
いきいき通信	4
バザー商品提供お礼	5
各種案内	6

編集と発行／社会福祉法人 田子町社会福祉協議会
 電話 32-4045 FAX 32-4085 メールアドレス syakyou@bz01.plala.or.jp



新春初笑い!! 県内で「エアリハ」初開催

1月16日、タプコピアンプラザホールにて平成28年度高齢者相互支援推進研修会が開催されました。この事業は、青森県老人クラブ連合会が主催となり、県内各地において高齢者の生きがいづくりや暮らしの安全・安心を目的に講話や講習が行われており、今回は田子町老人クラブ連合会創立50周年記念事業を兼ねての開催となりました。

奈良県在住のお笑い理学療法士兼落語家の日向亭葵氏を講師に、落語とリハビリを融合した「エアリハ」という独自の運動療法で痛みを笑いに変える講演をしていただき、当日は約130名の参加がありました。

日向亭氏は「簡単な体操をする際に、落語のようにあたかも道具があるかのようにイメージをすることで、チューブやダンベルを使用しなくても効果がある」と話し、実際に全員で体験してみると、何も考えない時に比べて疲労感があり、暑くなって上着を脱ぐ人も多数見られました。日向亭氏の軽快なトークであっという間に講演が終わってしまい、終了後に開かれたサイン会では持参した本が完売するほど大盛況の講演会でした。



講師の日向亭氏

この社協だよりは社協会費と共同募金配分金により発行しています。

50回の節目！田子町社会福祉大会開催！



過去の記録をスライドショーで振り返りました



講師の石戸氏



野菜たっぷりの豚汁を提供



社協の事業を廊下に展示（学童保育）



にしたてのふれあいサロンも好評



高校生による募金活動

11月19日、田子町中央公民館において、地域福祉への理解を深め、「みんなでつくる心のかようやさしい福祉のまち」を目指して、町民の皆さまや福祉関係者など約190名が一堂に会し、第50回田子町社会福祉大会を開催しました。

今年で50回目と言う節目の大会になったことから、開会に先立ち田子町社会福祉協議会の歴史を写真で振り返ろうと、法人化した昭和54年から現在に至るまでの「社協の歩み」をスライド上映しました。

スライドショーの後は、認知症の人と家族の会代表者の石戸育子氏より「みんなでつろう、やさしいまちを～認知症になっても安心なまちをめざして～」と題したご講演をいただきました。石戸氏は「認知症は怖くない。認知症を正しく理解し、本人とその家族を見守ることで“やさしいまち”になっていく。」と述べられ、聞いていた参加者からは関心の声が聞こえました。

また、講演後には町の社会福祉発展に功績のあった12名、4団体の方々への表彰が行われました。

昼食では食生活改善推進委員会の方々より、近年恒例となっている健康志向の具沢山な豚汁やかぼちゃのそぼろあんかけ等を提供していただき、午後からはチャリティバザーを行いました。チャリティバザーが行われた研修室の前には開場前から大勢の方が並び、オープンと同時に会場は人でいっぱいになっていました。この他にも、社協の各事業紹介や三戸町と南部町の福祉施設のご協力によるお惣菜・お菓子等の販売、にしたてのふれあいサロンの皆さんによる手作り作品の販売コーナーなど盛りだくさんの内容となりました。また、田子高校生による募金ボランティアや学童保育の子どもたちが作成したしおりを来場者にプレゼントするなど、様々な方面や立場の皆様からご協力いただき、社会福祉大会は大盛況のうちに終了しました。

受賞者の皆様 (敬称略順不同)

表彰の部 小笠原昭治 関本あや子 高館 一男 中村 康孝
山市 礼子 菊地ヨシエ 松橋 敬子 滝川 啓子

感謝の部 白板 文雄 尾形千恵子 櫛引美智子 菊地 秀子
青森銀行田子支店大福会 会長 橋本 浩三
演芸せきれい会 代表 中村 春治
株式会社 藤館ヘルスケア薬局
有限会社 コミュニティワークス介護センター カシオペア



受賞者の皆さん

田子町社協のあゆみ

～ 法人化から現在までの活動～

社会福祉大会で上映したスライドショーの一部を紹介します



社協だより創刊号

昭和56年に創刊号を発刊。故中平彦作氏が法人化初代会長であった。



新春を寿ぐ会

昭和62年にひとり暮らし高齢者への会食サービスを実施。これが現在の配食サービスと寄りあいつて事業となっている。



布団乾燥事業

昭和62年に24時間テレビからの車輛寄付により開始。平成元年に移動入浴及び布団乾燥サービス、現在では訪問入浴サービスとして展開。



サロン活動の開始

平成21年度に地域のネットワークづくりの一環として各地域でサロン活動を実施。第1回目は飯豊地区で実施(写真)。高齢者の生きがいがづくりと見守り活動につながっている。



デイサービススタート

平成6年に「せせらぎの郷」が完成し、平成7年より町からの委託でデイサービスをスタートさせた。その他、訪問入浴・配食・移送等、立て続けに新規事業を展開。



福祉教育の推進(手話教室H15)

昭和58年度に田子高校生による一人暮らし高齢者の友愛訪問活動がスタート。これを契機にボランティア活動が活発化し、町内の各学校から社協の様々な事業に参加協力いただいている。



車いすバスケ体験

平成22年度の社会福祉大会で車いすバスケを体験。この年代ではシッティングバレーや車いすレクダンスなど、障害者福祉分野を主に取り組んでいた。



災害時応援に関する協定調印式(H26)

郡内で災害が発生した際に郡内社協間で連携する協定を締結。郡内だけでなく、県社協の要請により東日本大震災や台風10号による被害にも職員を派遣している。



学童保育事業

平成26年度から開始し、児童福祉分野を本格的に展開。現在は3カ所で実施中。なお、子育てサロンも行っている。

ご協力ありがとうございました！



あらゆる世代から募金していただきました

10月1日から赤い羽根共同募金運動が始まり、田子町共同募金委員会では「にんにくとべごまつり」会場にて募金活動を行いました。会場には町内外から多数の来場者があり、大勢の方から募金にご協力いただきました。

今年度の赤い羽根共同募金は12月31日で終了いたしました。募金の実績につきましては、次号にてご報告させていただきます。家庭や職場、イベント等、様々な場面でご協力いただきありがとうございました。なお、今年度皆さまからご協力いただいた募金は29年度に田子町へ配分予定です。

あなたの自宅は大丈夫？



日頃の困りごとでも聞いてまいります

12月1日、高齢者や障がいのある方等を対象にした田子町高齢者世帯等防火・防犯診断及び奉仕活動を行いました。この事業は社会福祉協議会の他に、東北電力、三戸消防署田子分署、三戸警察署田子駐在所、田子町防犯協会の5機関が協働し、防火・防犯対策の推進を目的として実施しています。

今回は6世帯を訪問し、ブレーカーの点検や住宅用火災警報器の設置、詐欺や盗難被害防止のための呼び掛けを行いました。専門的な視点で点検することで、訪問先の方々は日頃から注意すべきポイントをアドバイスしてもらい防火・防犯の意識付けになったようでした。

食べて笑って年忘れ



職員の余興で大盛り上がり

12月11日、せせらぎの郷ホールにて、社会福祉協議会が行っている介護保険事業の利用者やご家族、ボランティアの方など約60名が参加し、介護保険サービス利用者忘年会を行いました。

しらゆきの会による歌や踊りを鑑賞したり、利用者の方からも自慢の歌声を聴かせてもらったりと、いつも来ているデイサービスとは違う空気に利用者の皆さんの目はキラキラしていました。また、最後には毎年恒例となっている田子高校郷土芸能部によるナニヤドヤラを披露してもらい、利用者や職員も高校生と一緒に踊り、賑やかに会は閉じました。

手作りしめ縄で新年の準備



協力してしめ縄作り

12月20日、田子町老人クラブ連合会による世代間交流事業として、しめ縄作り交流会が行われました。この日は午前田子幼稚園で、午後には上郷保育園児も含めて田子保育園で交流会を行いました。おじいさん、おばあさんが縄をない、出来上がったしめ縄に子どもたちが自由に飾りつけをして完成しました。中には自分で縄なりをする子どももいて、おばあさんが手伝う様子も見られました。交流会の終わりには老人クラブの方々から子どもたちにプレゼントが渡され、幼稚園、保育園の子どもたちからはそのお返しに踊りや手作りのメダルが贈られました。

チャリティバザーにご協力ありがとうございました



11月19日、田子町中央公民館で開催された第50回田子町社会福祉大会において、たくさんの方々から多くの物品をご寄付いただき、福祉チャリティバザーを行いました。バザーの売上は182,180円となりました。この売上金は、田子町の社会福祉活動に活用させていただきます。物品の寄付並びに当日バザーにお越し下さいました皆様、本当にありがとうございました。



物品をご寄付いただいた方々 (敬称略・順不同)

飯原 トシ	伊藤 睦子	石川 純子	市橋 孝士	市村 和子	市村志寿子
稲村 つね	井上 節子	岩間 京子	岩間正一郎	岩間 信雄	内澤 たき
宇藤安貴子	大石 直子	大久保弘志	大平 正男	小笠原良子	尾形 栄子
尾形千恵子	尾形 照子	欠端 すゑ	葛西 せつ	釜淵キクエ	釜淵 妙子
上斗米正代	川上 幸子	川端 洋子	川村美恵子	川村ミツヨ	川守田スエ
菊地 秀子	北村 弘子	工藤 累子	蹴揚 恵子	坂上 洋子	佐々木正二
佐藤 寿幸	澤口 洋子	常前 すみ	関本あや子	高沢 章子	高田きみゑ
滝川 啓子	田中美穂子	田村 重文	足澤美智子	土川 尚子	留目ふじゑ
鳥井本 清	鳥井本 優	鳥羽々文吾	中沢由美子	中堤 光枝	中村 アイ
中村 忠充	中村幸栄子	鳴滝笑美子	萩原 則好	畑山 直子	馬場 あき
原 靖之	原 ヨシエ	平山 幸夫	藤村千鶴子	細谷 ちた	堀合 貞子
堀合 拓子	堀川 儀男	舛田 律子	松橋 明子	松橋 敬子	松原 とよ
松山 慶	宮永ヨウ子	村上 時	森 榮子	森 敏子	矢田 均
柳田 なか	柳田ふみ子	築田 貞	築田 良子	山市 とし	山市富士雄
山下留美子	山本トシ子	山本 千明	山本 セチ	脇谷 しめ	匿名希望9名
青森銀行田子支店		青森県信用組合田子支店		青森トヨペット(株) 三戸店	
井畑精肉店		(株)オクトワーク		(株)金入	
久慈商店(有)		(社福)桂泉会 まんてんの里		(株)サトー防災	
(有)コミュニティワークス介護センターカシオペア					
(株)三戸日産		(株)サンメディカル八戸営業所			
(株)サンメディックスシルバーレンタルサービス				大坊建設(有)	
田子郵便局		(株)中野グループダスキン八戸		富士商事(株)青森営業所	
(株)藤館ヘルスケア薬局		ホームプラザモリシン商店		三浦商店	
(株)三八五オートリース		三八五観光(株)		社協職員一同	

おめでとうございます!

11月15日にリンクモア平安閣市民ホールで行われた第65回青森県社会福祉大会において、青森県社会福祉協議会会長及び青森県共同募金会会長より、以下の方々が功績を称えられ表彰されました。(順不同・敬称略)

◆青森県社会福祉大会表彰

【民生委員・児童委員】 獅子内 恵 子

【民間社会福祉施設従事者・社協及び社会福祉団体等役職員】

薄 木 祐 子 山 本 せつ子 堀 合 拓 史

◆青森県共同募金会会長表彰

【10年以上奉仕功労】 滝 川 啓 子

【20年以上奉仕功労】 沢 田 八 十

生活福祉資金 教育支援資金のご案内

教育支援資金は、他の貸付制度を利用できない、所得の少ない世帯に対し、高校や大学等への入学に際して必要な経費もしくは修学に必要な経費を貸付するものです。

資金種類	貸付限度額	据置期間	償還期間	貸付利率
教育支援資金	高校 月35,000円以内	卒業後 6ヵ月以内	20年以内	無利子
	高専 月60,000円以内			
	短大 月60,000円以内			
	大学 月65,000円以内			
就学支度費	500,000円以内			

対象となる世帯

- ・世帯の所得が一定以下であり、修学費用を他の融資制度から受けることが困難である低所得世帯としています。
- ・低所得世帯としての取扱は生活保護法に基づく生活扶助算定額を基準として個別に計算します。(概ね、世帯1人あたりの収入月額8万円程度)

〔借入ケースの例〕

- ① 高校・短大・大学・専門学校の授業料を借りたい。
- ② 修学中の家賃、寮費、通学定期代が足りない。
- ③ 入学金、制服・教科書等の購入費が足りない。

ご不明な点やご相談はお気軽に田子町社会福祉協議会へお問い合わせください。

問い合わせ先

田子町社会福祉協議会 ☎32-4045

※教育支援費は特に認める場合に限り限度額の1.5倍まで貸付可能

たすけあい！の地域づくりを目指します ～ほのぼの協力員及び福祉協力員とは～

田子町社会福祉協議会では、各自治会へほのぼの協力員と福祉協力員の選任のお願いをしています。両協力員には地域の中の課題や疑問などを情報提供していただき、問題解決につなげていくためのパイプ役としてご協力いただいております。

ほのぼの協力員 活動内容

- ・地域福祉に関する情報提供
- ・見守りが必要と思われる方の安否確認、情報提供

<活動期間>

どちらも4月1日から翌年の3月31日までの1年間



今年度ご協力いただきました協力員の皆さん、1年間ありがとうございました。
また、新しく協力員になる皆さん！来年度よろしく願いいたします！

福祉協力員 活動内容

- ・地域福祉に関する情報提供
- ・社協会費及び共同募金運動への協力(集金・募金活動)
- ・社協だよりや社協行事チラシの個別配布

<その他>

- ・活動中の事故やケガに対応するために保険加入を行います。
- ・福祉協力員には世帯数に応じた活動費をお支払しています。

義援金の募集について

平成28年12月22日に新潟県糸魚川市で発生した大規模火災により多数の家屋が焼失する等の被害が発生しました。

この災害で被災された方々を支援するため、田子町共同募金委員会では義援金を受け付けています。また、熊本地震義援金及び岩手県台風10号による災害義援金も引き続き受け付けておりますのでご協力お願いいたします。

【受付している義援金】

- ・糸魚川市大規模火災
- ・熊本地震
- ・岩手県台風10号大雨等災害

【受付期間】

平成29年3月31日まで

【募金方法】

窓口募金(田子町共同募金委員会で受け付けています)

善意の灯

皆様からのあたたかいご寄付をお寄せいただきましたのでご紹介いたします。

皆様からのご寄付は社協事業に有効に活用させていただきます。

ありがとうございました。

にしたてのふれあいサロン様 15,000円
日向 進 様 10,000円
青木 弘 様 電動ベッド
千葉 愛子 様 タオル
富士産業株式会社 様 薬用入浴剤
匿名希望 様 シャワーチェア
(平成28年6月1日～12月31日受付分)